

仙台市立東二番丁小学校長 池田 和子

事務局作成の提言（案）につきましては、様々な観点や視点から見直し、提言としてまとめられていると感じております。下記のことは、会議に参加もできない者の私見として受け止めていただければ幸いです。

○災害時に実際にはかなりの女性がリーダーとなり、大きな働きを果たした感じております。ただ、男性に比べて主とした役割として目立たなかったのは、家庭内において、子どもの世話や老人介護等を女性が担っている証拠であり、また、働く女性の立場が大変弱く、仕事の能力や効率的な実績をあげている者を優遇するのではなく、女性であるがために女性から切られていく（解雇や職場転換等）という現状の中で、リーダー的な立場として十分その責任を果たしていくべき能力をもった女性とその力を発揮できなかったという現実があります。

○それらのことを考えると、女性が地域等の中で、リーダー的な力を発揮していくのに躊躇したり、または、断ったりするということはごく自然のことのことです。

○私は学校の立場として、保護者の意見や考え（苦情を含め）を十分受け止め、無理難題なことにも知恵をしばって保護者をまとめ、PTA活動を運営している多くの女性を見ております。家庭のこともすべてやりこなし、その上で頑張っています。もちろん、男性（父親）の働きぶりにも関心しておりますが、学校行事や懇談会等を見ていると子育ては母親にお任せという感じが歪めません。

○子育てや老人介護等、弱者を守って頑張っている女性が、安心して地域の主要な担い手となれる環境作りが何より大切です。パワーの点においては、男性に劣ることは当然ですが、細かい配慮や気配りと目配りにおいては、女性の方が断然力を発揮します。

○介護等を抱えている女性も仕事をもっている女性も、その立場が脅かされずに、自分の力を災害支援の中で発揮できるように、休暇の制度や雇用の制度の改善、介護支援の制度の在り方の見直し、子育て中の女性が安心して子どもを任せられる制度の確立等が急務であると思います。